

出来事ファイル (No.21-4)

■乙仲通で新築工事

若い人たちにぎわう乙仲通。その通りに面した海岸通2丁目4-15番地で、今ある古い建物を撤去、高さ16m余の5階建て「松本ビル」の新築が決まった。1階は駐車場と店舗、2階フロアは店舗とし、3から5階までが住宅となる。4月末までに古い建物の解体工事などを終え、5月から基礎工事、2022年2月末の完成を予定している。若い人たちが集う乙仲通に、また新しい顔が登場する。



写真:完成予想図

■オリンピック聖火リレーコースきまる

聖火リレーは3月25日福島県をスタート、7月23日オリンピック開会式のゴールに向かうことが決まった。神戸市内の走行ルートは5月24日(月)8時30分兵庫県庁芝生広場をスタート、中山手通4丁目から鯉川筋、三宮中央通、フラワーロード、仲町通、メリケンロードを経由してメリケンパークに至るコース。16歳のチェロ奏者・北村陽、北京五輪陸上銀メダリストの朝原宣治、シドニー五輪柔道銀メダリストの篠原信一、気象予報士の山本一巳さんらが走行する。



写真:メリケンパーク

■神戸ホテルジュラク4月3日オープン

モデル住宅展示場だった跡地(東川崎町1-1-1)に「神戸ホテルジュラク」が完成、3月25日(木)披露内覧会が開かれた。部屋は5階から12階までの8フロアで、ダブル、ツイン、トリプルなど全256室。山側の部屋から六甲山と神戸の街並を、海側の部屋からはハーバーランドを前景に神戸の港が一望できる。同ホテルを経営する株式会社聚楽は1924(大正13)年3月、東京神田で開店した「須田町食堂」にはじまるが、今では東京のほか群馬、福島、静岡、新潟などで、幅広くホテル業を展開する。

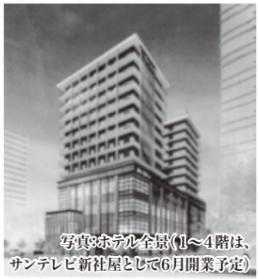


写真:ホテル全景(11~14階は、サンテレビ新社屋として6月開業予定)

□読者プレゼント

春季特別展 浦上コレクション 北斎漫画

自ら「画狂人」と称した葛飾北斎(1760~1849)。全15編で構成される『北斎漫画』は、山水、人物、動植物、建築物、妖怪など森羅万象を描きつくした絵画の百科事典ともいわれ、その中から約200点を紹介する展覧会です。観覧ご希望の方は、ハガキに住所・氏名・年齢を明記の上、「北斎漫画」希望、として編集部まで。先着順で5名の方にペア招待券をお送りします。



葛飾北斎(土卓英気画)九編 浦上コレクション

会場:明石市立文化博物館
TEL 078-918-5400
期間:4月17日(土)~5月23日(日)

神戸元町商店街 楽市楽座 情報 4月

◇こうべまちづくり会館ギャラリー(無料) TEL361-4523

- 4月22日(木)~4月27日(火) いくた15人会第27回展
- 4月29日(木)~5月4日(火)第8回甲友会

◇元町映画館(有料) TEL366-2636

- 3月27日(土)~4月2日(金) 『クシナ』・『クラッシュ』・『小田香監督特集』
- 3月27日(土)~4月9日(金) 『セノテ』・『VIDEOPHOBIA』
- 3月27日(土)~4月23日(金) 『生きる 島田敏 一戦中最後の沖縄県知事』
- 4月3日(土)~4月9日(金) 『ドヴラート フレニングラードの作家たち』
- 『BOLT』・『夢みるように眠りたい』
- 4月10日(土)~4月16日(金) 『アウェイデイズ』・『ホテルニュームーン』
- 4月10日(土)~4月23日(金)『夏時間』・『裏アカ』
- 4月17日(土)~4月23日(金)『陶王子 2万年の旅』

4月17日(土)~4月30日(金) 『きこえなかったあの日』
4月24日(土)~4月30日(金) 『カソクデッサン』
【*時短営業の為、予定は変更になる場合がございます。】

■神戸駅東地区クリーン作戦

神戸駅東地区クリーンチームは3月3日(水)12時からハーバー懇談会地域のクリーン作戦を実施した。エスタシオン・デ・神戸から8名参加した。ネットトヨタ兵庫(株)は休業日でした。



編集後記

阪神大震災で自宅が崩壊し、身を寄せていた親戚の家で、伝えられた変わり果てた街の姿を見た市立高羽小学校の主任教諭・白井真さんが、わずか10分で作詞作曲したという「しあわせ」運べるように。おなじみのこの歌が、ふたつめの神戸市歌になった。白井教諭は3月末、定年を迎えられたとのこと。白井教諭の新しい門出を祝う「神戸市歌」の誕生を、市民さんと共に慶びたい。

栄町通クリーン作戦

栄町通まちづくり委員会は、3月12日(金)10時から10時30分まで、栄町通を中心に、ゴミ拾いと不法ピラ撤去、自転車・バイクなどへの不法駐輪警告チラシ取り付け作業など、栄町通クリーン大作戦を実施した。参加者は、(元栄海三丁目自治会)奈良山喬一、(広島銀行)曾我部真介、(兵庫県信用組合)藤本吉英・田口祐二・大崎富示一・上山洋一、(三鈴マシナリー(株))野田常美、(株式会社KKテクノ)松本美紀・手植草惟・白川乙葉、(神明ロジスティクス)柴田善尊、(神明倉庫(株))藤尾憲弘・十時実希、(株)イーエスプランニング)三河晶子、(佐野運輸(株))末松明・北島幸宏、(新光明飾(株))中川俊・西村友博、(佐田野不動産(株))佐田野宏之以上、19名のみなさんでした。毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。

本日のクリーン作戦にご参加の株式会社KKテクノ様より手紙24枚をご寄付頂きました。



みなと元町

タウンニュース

No. 344

TOWN NEWS



発行:みなと元町タウン協議会 住所:〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内 発行人:奈良山喬一 編集人:岩田照彦 電話・FAX:078-391-0831

全国初の「ほこみち」指定!三宮中央通りの今

合資会社ゼンクリエイト 根津 昌彦

昨年6月の寄稿で、「コロナ占用」という沿道飲食店等の路上利用に伴う道路占用の特例に関して、元町商店街での取り組みを紹介したが、同特例利用を同じように申請して、歩道空間を沿道飲食店のテラス席利用をしていたお隣のまちづくり協議会である三宮中央通りが、この程、全国初の「ほこみち」に指定された。

この「ほこみち」とは一体何か。国土交通省が発行する制度説明のリーフレットには、「道路空間を街の活性化に活用したい」「歩道にカフェやベンチを置いてゆっくり滞在できる空間にしたい」など、道路への新しいニーズが高まっていて、道路空間の構築を行いやすいよう、改正道路法(2020年5月27日公布、同年11月25日施行)において、新たに「歩行者利便増進道路(通称:ほこみち)」制度を創設したとある。つまり、昨年6月の寄稿で紹介した『私たちの「幸せ」の実現について改めて考えたとき、道路を人々が滞在し交流できる空間に「回帰」させることも、現代において求められるのではないか。』という、道路政策ビジョン「2040年、道路の景色が変わる」で提案されている理念を、具現化するための新制度なのである。

三宮中央通りまちづくり協議会では、コロナ占用特例を受ける段階から、同制度に注目し、コロナ占有特例が終わった後も、引き続きオープンカフェだに止まらず、歩道上での賑わいづくりやコンテナブースでの物販利用、キッチン利用、会議スペース利用など新たな風景をつくっていくことを狙って、関係者で協議を進めてきました。その結果、2021年2月12日、大阪市の御堂筋、姫路市大手前通りとともに、三宮中央通りの歩道空間の一部(警察協議を経て定められた区域)が全国で初めて「ほこみち」

として指定されました。

この指定により、まずは5年間(最長20年)にわたって、沿道店舗がテラス席を設けたり、販売ブースを設置したりということが、道路占用料を支払うことによって可能となります。コロナ禍が長期化している現状に鑑み、コロナ占用特例の期間が、2021年9月30日まで延長されたため、ほこみち制度を運用する場合も、道路占用料を免除する旨の通達が国よりあったため、道路占用料の発生は今年10月以降となるが、まちづくり協議会が道路占用を有償できっちり管理することで、さまざまな活用が期待されている。

元町商店街との接点である大丸前五叉路の東側歩道空間も、コンテナハウスを設置したり、キッチンカーなどを設置したりして、新たな都心の名所をつくらうという計画も進んでおり、鯉川筋の歩道拡幅整備とあわせて、人の往来や滞留が今以上に多くなることは間違いないといえるだろう。

元町商店街は、神戸市と締結している道路管理・活用協定の運用によって、現在ベンチを設置したり、定期市、不定期のイベントを開催したりということも可能であるが、さらなる活用や賑わいづくりを目指すならば、この「ほこみち指定」という選択肢も、三宮中央通りの動きを注視しながら、一度議論してもよいかもしれない。



図1 ほこみち指定された三宮中央通りの概要



図2 大丸前五叉路の活用イメージ

海という名の本屋が消えた（89）

平野義昌

諏訪山界隈(7)

〈神戸の獅子吠えたり別れ寝るホテル〉^{註1}

西東三鬼(さいとうさんき、1900～62年)の俳句。1938(昭和13)年秋、舞台は諏訪山の南、山本通4丁目「富士ホテル」。三鬼は神戸港で愛する女性を出迎えた。5年越しの交際、彼女は胸を病み、保養先の九州別府から戻ってきた。三鬼も同じ病を持つ。

〈神戸の獅子吠えて愛しき周期来る〉

〈訓練空襲かし月夜の指を愛す〉

〈滝の前処女青蜜柑吸ひ吸へといふ〉

〈滝青し合ひ離れ合ふ眼に落つる〉^{註1}

「獅子」は諏訪山動物園のライオン。既に本土空襲が想定され、夜間に「訓練空襲」があった。「滝」は「布引の滝」。

三鬼は自伝的作品の執筆目的を「私という人間の阿呆さを公開する事」^(註2)と書き、半生、俳句弾圧事件、女性関係を赤裸々に語っている。それでも「富士ホテル」の女性とはプラトニック、と断言する。句は艶めいているが、苦しい恋だったのだろう。のちにこのホテル近くの洋館に三鬼は住む。詳しくは次回紹介する。

三鬼は本名・斎藤敬直(けいちよく)、岡山県津山町(現在津山市)生まれ。25(大正14)年、妻を伴いシンガポール在勤の兄のもとで歯科医開業。28(昭和3)年帰国、開業。その後、病院歯科部長就任。33(昭和8)年、患者に誘われ俳句を始める。34(昭和9)年、リアリズムを詠む新興俳句運動(「京大俳句」他)に参加。35(昭和10)年、胸部疾患で入院。38(昭和13)年、歯科医廃業、貿易会社入社、胸部疾患再発。40(昭和15)年、治安維持法違反により俳句グループ検挙、「京大俳句事件」だ。三鬼の句「昇降機しづかに雷の夜を昇る」は「気象の異変と機械の静粛との関係」^(註1)を詠んだもの。特高が解釈すると、「雷の夜」は国情不安、「昇降機」は共産主義になる。70日間拘束された後、起訴猶予になった。

42(昭和17)年、三鬼は妻子と離別し、会社を辞め、俳句から離れた。「東京の何もかもから脱走」して神戸に来た。バーの女性にトーア・アパート・ホテル(神戸区中山手通2丁目)を教えられる。〈それは奇妙なホテルであった。／神戸の中央、山から海へ一直線に下りるトーアロード(その頃の外国語排斥から東亜道路と呼ばれていた)の途中に、芝居の建物のように朱色に塗られたそのホテルがあった。〉^{註2}

ホテルの場所はトアロード東沿い、生田新道北側。当時の商工名鑑に「旅人宿 ホテル」、代表者「水村保」と記載がある(註3)。「水村」は支配人。1993(平成5)年、水村の子息が「神戸新聞」取材に答えている(写真)。三鬼滞在当时子息は中学生、ホテルを「トーア・アパートメント・ホテル」と呼ぶ。海運業・西川莊三(しょうぞう)が宏大な邸宅の母屋をホテルに改装、オリエンタルホテル、トーアホテルに次ぐ高級ホテルを目指した。加えて敷地内に貸家50軒を建てた。子息は27(昭和2)年頃のことと推測する。^{註4}・補註

三鬼はホテルを、「戦時とも思えない神戸の、コスモポリタンが沈黙している」「(当局から)『非国民』の掃き溜のように見られていた」などと形容する。読者は安い下宿屋の印象を持ってしまう。水村子息は、「朱色」は中国風の青と丹(に)で彩色された「平安神宮のような感じ」と証言。まさしく枕詞「青丹よし」だ。芸能界のスターたちが出入りする「華や

かな社交の場」だった。

〈父はまあ、西川さんの片腕のような存在でした。トーア・アパートメント・ホテルというのも父が考えた名称で、当時はハイカラな響きがあったものです。常住もできるというスタイルですが、この着想も父の自慢の一つでしたね。〉^{註4}

水村保は東京の生まれ育ち。関東大震災で被災し、親戚の西川を頼った。

〈この白髪の好人物は、パパさんの愛称で内外人に愛されていたが、ホテルの持主の義弟で、その持主は没落しかかっていた。そしてホテルは既に新しい経営者の手に移っていたが、パパさんの人望は高く、この老人を首にするなら、わたし達も出てゆくという、女客達の強硬な申し入れのために、老マネージャーは元のまま深夜まで働いていた。〉^{註2}

三鬼記述のとおり41(昭和16)年にホテルは人手に渡っていた。新オーナーは兵庫県出身ながら、東京吉原の妓楼で儲けた男だった。三鬼は彼について、契約のことは不明だが一朝の金金だけでホテルを乗っ取った、と書く。彼は外国人たち・女性たちに馴染めなかったし、彼らの方も嫌った。三鬼には身の上話をしたが、三鬼も嫌っていた。

〈彼等や彼女等は、戦時色というエタイの知れない暴力に最後まで抵抗した。(中略)共通の信仰は「自由を我等に」であった。だから彼等はそのハキダメホテルで極めて行儀が悪かった。そして奇妙な事には、一様にプライドが高かった。〉^{註2}

ホテル住人は、日本人12人(女性10人)、白系ロシア女性1人、トルコタール夫婦、エジプト人男性1人、台湾男性1人、朝鮮女性1人。日本人男性は三鬼と中年の病院長(妻は病気療養中)。女性たちは水商売勤め、身体を張って稼いでいた。外国人は皆違法スレスレの商売。ユニークな人物がエジプト人エルバ、敵性国人だが国に帰らず、肉屋商売は休業状態。どこからか食べ物やビールを手に入れて来る。ホテル住人で真面目に防空演習に参加するのは台湾の青年(商売は闇屋)だけ。他の者も出動義務があるのに彼を代表者にして、三鬼の部屋の窓から眺めている。近所の外国人たちも参加するが、「日本語の号令を解する程、愛日本的でなかった」から混乱させるだけ。彼らなりの抵抗だ。

ホテル敷地内の貸家には特高が常駐し、外国人や脱走兵に目を光らせていた。

〈神戸という街は、戦争中、流言のルツボであった。つまり、スパイの巣であった。県庁の外事課は、そのためやっきになっていたが、いわゆる敵性国、盟邦の、両方の人間が、日本の敗色濃い情報を流す。いくら官設ラジオが勝った勝ったと放送しても、ドイツやイタリーの軍艦や潜水艦が、外海に出航する路を完全に封じられていることは、水兵達が、いつまでも神戸にノソノソしている事実からみて、神戸の市民は皆知っていた。〉^{註2}

東京で空襲が始まると、新オーナーはホテルの調度品を田舎に運び出した。余計に女たちの響感を買った。彼女たちはパパさんを気の毒に思う。〈このパパさんなる人は(中略)善良なること神の如き人物。いつも閑な時には金鎗を持って女達の部屋部屋を廻るので、あだ名がヨセフ。これはいかにも神戸らしかった。姐御達は威勢はいいが皆父親運が悪いから「パパさん」の愛称のひびきには心がこもっていたのである。〉^{註2}

43(昭和18)年、パパさんは帳場の椅子に坐ったまま急死、心臓麻痺だった。住人たちの食事を調達するため並々ならぬ苦勞をし、悲運(三鬼は、長

男が妻と赤ん坊を残して戦死、と記す)が重なった。住民たちは皆悲しみ、特にエルバは「死者の足の裏を自分の黒い額に押し当てて慟哭した」。^{註2}

三鬼は自伝に水村子息のことを書いていない。中学生ゆえ気遣ったのだろうか。子息は三鬼らと舞子浜にタコ釣りに出かけたこと語っている。釣果なく魚屋で買って帰った。三鬼は気のいいおじさんだった。^{註4}

〈……三鬼さんが父に、このホテルを題材にして小説が書けるな、と話していたのを覚えています。私はそんなに偉い俳人とは知りませんでしたから、せいぜい三文文士の夢くらいに思っていました。〉^{註4}

三鬼は皆から「センセイ」と呼ばれた。前歴を知る波子が知人を頼って偶然ホテルに来て、そう呼んだからだ。元歯科医を揶揄するのではなく、人柄に敬愛を込めた呼び名だ。外国人とのコミュニケーションに慣れていて、雑用から男女の面倒事まで世話を焼いた。世捨て人状態だったが、たくましく生き抜く女性たち・外国人たちに心慰められていた。戦争が終わるまで波子と暮す。

^{註1} 『西東三鬼全集』角川文庫 2017年

^{註2} 西東三鬼『神戸・続神戸・俳愚伝』講談社文芸文庫 2000年(1954から60年俳句雑誌に断続的に連載、75年出帆社より単行本)

^{註3} 『神戸市商工名鑑 昭和12年』神戸市役所産業課 1937年

^{註4}・写真 「西東三鬼・イン・ミステリアス神戸」(「神戸新聞」1993年5月30日)。右写真はホテル玄関前、右側の人物が「パパさん」。

補註 神戸新聞記事は西村を「港都の立志伝中の人物の一人」と記す。立志伝、資産処分の詳細など不明。『神戸市商工名鑑 大正十四年』に「船舶 西川商店」、「同 昭和三年」に「海運業、船舶売買、運賃仲立業 西川商会」とある。海運会社・経済団体の役員に名を連ね、経済雑誌に海運論文をたびたび寄稿。『孫文、日本関係人名録 増訂版』(孫文記念館、2012年)は、「1868—1945、兵庫 三上合資会社支配人、神戸商業会議所副会頭、神戸市議会副議長」と紹介。海運会社「三上」経営者は孫文を支援、1913(大正2)年西川は孫文亡命の件で外務省に交渉。また24年(大正13)年11月、神戸滞在中の孫文に依頼し、商業会議所主催「大亜細亜問題」講演会を開催。17(大正6)年から42(昭和17)年まで神戸市会議員。美術コレクターの顔もある。19(大正8)年の旧秋田藩主所蔵「佐竹本三十六歌仙絵巻」売り立ての会に参加。高額のため個人では購入不能。経済界の重鎮たちが国宝級美術品の海外流出を恐れ、切断、分割所有の手段をとった。抽選の結果、西川は「壬生忠岑」を得た(Web「佐竹本三十六歌仙絵巻展覧会を記念して」)。これも後に手放す。38(昭和13)年の阪神大水害後は神戸区復興委員会会長を勤め、災害復興の先頭に立った(「神戸区水害復興誌」同委員会編、西川莊三発行、1939年)。



乙仲通 界隈の魅力と可能性

乙仲さんぽ活動報告 9

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部 兵庫地域会
乙仲通界隈デザインワークショップ実行委員会

ジェイコブスの言葉

神戸松蔭女子学院大学の同僚、米原慶子さんから、乙仲通の存在を教えられました。日本建築家協会(J I A)兵庫地域会の主催する乙仲さんぽにも参加し、学生たちが地区の魅力を発掘するのを見てきました。米原ゼミの学生たちが乙仲通を題材に卒業設計に取り組んでいるのも横から見てきました。若い人たちにこの通りがどれほど魅力的に映るかという疑問もないではありませんでした。建築を勉強している人間の審美眼はさすがで、新鮮な発想が飛びかかっていました。

わたし自身はまちづくり運動家ジェイン・ジェイコブスの主張の意味の理解をふかめました。「地区は、古さや条件が異なる各種の建物を混在させなくてはなりません。そこには古い建物が相当数あって、それが生み出す経済収益が異なっているようであってはなりません」という言葉です。1961年に書かれた『アメリカ大都市の死と生』の中にあります。彼女の主張



4階建町並みの魅力

乙仲さんぽをつうじて、わたしの印象的だった空間の魅力を記しておきます。

乙仲通りでは港町の雰囲気も香り、全体として4階建ほどの建築が並んでいる、オフィス街の景観は落ちつきがあります。古い建物が丁寧に修復して使われれば、景観もすこぶるよくなることを示しています。用途を変えて使われている建築、コンバージョン建築というのは、なんとよい例が多いでしょう。

もうひとりのカリスマ理論家、クリストファー・アレグザンダーは「4階建の制限」という空間づくりのキーワードをうちだしています。4階からは、下の街路に降りるも容易だし、窓から顔を出せば街路の光景と一体感ももてるというのです。たしかにヨーロッパの都市では4階建の町並みが都市中心部にはたくさんあります。日本の大都市の中でも、ところどころにあり、地味ですが存在感があります。土地をもっとも有効に使っているなど感じさせる合理

をひとことでいうと、多様性の創出が町には必要だということです。第二次大戦後、いち早く大量生産・大量消費の生活様式を確立し近代化を突っ走ったアメリカ合衆国最大の都市、ニューヨークを舞台に、彼女は活躍しました。市の道路建設や再開発の計画に反対しつつ、都市の多様性の利点を追求しました。

引用の箇所は、財力に乏しいが創造性のある店舗が新規立地しやすいようにすることの重要性を説きます。「花開く多様性というのは、高収益事業、中収益事業、低収益事業に無収益事業入り交じっている」というのです。彼女の意図を頭では理解してきたつもりでしたが、乙仲通を見て合点がいきました。ここでも古い貸しビルの一室に入り込む多様な店舗群が独特の魅力をつくり出しています。雑貨屋・手芸品店・そのパーツを売る店・古着などの衣料品店・アトリエ・ケーキ屋、またカフェなど飲食店も多彩です。

高度成長期後、貨物のコンテナ化が進むなかで、仲介業者のオフィスは少なくなり、微妙



性があります。高層建築は周囲に空地・駐車場が多くなり、けっしてよい意味の密度をもたらしません。

海岸通と違い海は見えないけれども、南の空が明るく、海の近いことが分かります。海運仲介業者の町だったという知識も助けてくれるのですが、独特の雰囲気があります。1階にコンビニの入るカモメビル、ビルの名前もさることながら、くすんだ青、まさにマリンプルーの小さいサンシェードを窓の上に付けているだけで、海を感じさせます。

建築の前面が多様で楽しさを演出しています。近年の日本の都市ではセットバックして駐車場にする例あたりまえになって、道路沿いは自動車のための景観になってしまっています。乙仲通ではA型看板やほどよいはみ出し商品があったり、ちょっとしたテーブルや椅子もあります。ヨーロッパの都市中心部では街路に面して壁面線をそろえなければならないとする、デザインコードを作ることもあります。

仲介業者のオフィスでは中廊下の両側に20

なバランスで残された建築群が、近年その魅力を見直されたのです。ただ、古いオフィスビル街とはいえ、150万都市の中心部にあり、三宮からの歩行圏なので、都市庄はつよいでしょう。高層ビルが侵入してきます。

北の中華街の南京町と東の海岸沿いの居留地跡は景観計画の対象になっていて、その雰囲気も維持できそうです。それに比べると乙仲通の現局面では、より手厚い景観保全の手立てがほしいところです。乙仲さんぽの取組は、そんなことも考えさせてくれました。

地元業者の方たちにもこの通りの雰囲気を守りたいという意識的な動きがあります。また建築家たちが地域としていい場所を作りたいと、多彩な活動をつづけているのに、J I A外部のわたしとしては敬意を表しておきます。乙仲通には、その魅力を増進しようという力がすくなくならずと確信しました。

各地のまちづくりを見ていると、かかわる人びとが楽しみながら、一生懸命考え、ねばると、よい結果がもたらされるようです。



から30㎡ほどの小割の部屋が並ぶのが一般的だったようです。戦前の映画に出てきそうで、なつかしい。廊下と部屋との間に窓があるのも今日からみればユニークです。「店がどこにあるか分かりにくい」という声もありますが、探索の妙味があるともいえます。

昭和ビル、これは前後に長く、乙仲通側は勝手口側なのですが、3階のアーチ窓に表情があります。特筆したいのはそこにある「ナイトメ屋」、ティム・バートン監督『ナイトメアー・ビフォア・クリスマス』というアニメの関連グッズだけを販売しています。部屋いっぱい天井近くまで所狭しと並べています。

ジェイコブスが見たら喜ぶに違いないのが乙仲通です。



中林 浩(なかばやし ひろし)

2021年3月まで神戸松陰女子学院
大学教授／博士(工学)／都市計画
学や景観問題の研究